

地域密着型金融の取組事例について

タイトル	事業間連携の取組み	JA名 JAうま (愛媛県)
1 動機 (経緯)	農業者のニーズ把握とそれに対応するための態勢構築のため、金融部門の知識の充実及び、営農部門の農業融資の意識付け、また、両部門での協力体制の構築に取り組みました。	
2 概要	地域営農指導員の定例会に金融部門からも参画し、情報の共有化や営農指導員の融資知識（制度資金の簡単な概要の知識程度）の向上を目指していきます。	
3 成果 (効果)	地域営農指導員（TAC）と金融部門が連携することにより、スピーディーな情報提供に努めることができ、結果として農業者の農業経営と生活をサポートすることが出来ました。	
4 今後の 予定(課題)	両部門の連携は必要であり、平成 25 年度も営農指導員定例会の金融部門からの出席依頼をしています。これにより、情報の共有化や連携を密にして農家が満足するような活動を行っていく予定です。	